

令和7年4月24日開催

区長記者発表



発表項目

- 1 ファミリー・アテンダント事業
- 2 学びの多様化学校 Minato School
- 3 みなとにほんごふれあいスペース～ことばの宝箱～
- 4 みなと芸術センター愛称募集
- 5 港区平和都市宣言40周年事業
- 6 マンション等共同住宅の震災対策支援
- 7 米国関税対策にも対応 港区の中小企業支援
- 8 港区職員におけるハラスメント防止宣言
- 9 六本木三丁目児童遊園「ロクサンひろば」
- 10 麻布坂カレー 第3弾

悩みや不安に寄り添い、子育て家庭の孤立化を防ぐ ファミリー・アテンダント事業

令和7年4月24日 区長記者発表



子育て家庭の孤立を防ぎ、誰もが安心して子育てできるように、子育て家庭への育児用品の提供を伴う定期的な見守り訪問と、子育てに関する悩みや不安に寄り添う伴走型の支援を行います。

ファミリー・アテンダント事業

見守り訪問

見守り支援員が育児用品のお届け時に、子どもと保護者の状況を確認し、悩みや不安を聞くことで、子育て家庭に寄り添います。

- 対象** 1歳未満の子どもがいる家庭
回数 子ども一人当たり月1回
提供品 子ども一人当たり1回3,000円相当の育児用品を提供



伴走型支援

地域の子育て支援員が、保護者と一緒に家事や育児をしたり、子どもと遊んだり、悩みを傾聴するなど保護者に寄り添います。

- 対象** 0歳～12歳（小学校6年生）の子どもがいる家庭
回数 子ども一人当たり月1回、2時間/回

➡ 子育てに関する小さな悩みから大きな悩みまで、専門スタッフが定期的に訪問し寄り添うことで、家庭の負担や不安を軽減します。

ファミリー・アテンダント事業

見守り訪問

定期的な見守りと
育児用品の提供



訪問時の状況報告

オンラインで申し込み



必要に応じて保健師や相談員が支援、
母子・子育てサービスの提供

伴走型支援

子育ての相談や悩みの
傾聴と、家事・育児を
一緒に行う



訪問時の状況報告

みなと保健所

情報共有

子ども家庭
支援センター

合同ケース会議等

一人ひとりのチャレンジ意欲や個性・能力を伸ばす
学びの多様化学校 Minato School

令和7年4月24日 区長記者発表



「学校に行きたくても行けない」という悩みを抱える中学生を対象にした、**学びの多様化学校 Minato School**を令和7年4月1日に開設しました。正規の教職員が配置され、生徒一人ひとりのチャレンジ意欲や個性・能力を伸ばす指導を行っています。

学びの多様化学校 Minato School 概要

- 対象生徒**
- ① 港区民で、つばさ教室(適応指導教室)に通っている生徒
 - ② 継続して30日以上、不登校の生徒
 - ③ 就学検討委員会が入室することを認めた生徒

設置形態 港区立小中一貫教育校 御成門学園御成門中学校の分教室型

学習場所 港区立教育センター（港区虎ノ門三丁目6番9号）

在籍 ▶ 御成門中学校
学習する場所 ▶ 教育センター





港区ならではのプログラムで生徒一人ひとりの学びを支援！

学びの多様化学校 **Minato School** の魅力



区内企業や大使館等と 連携した学習

- 区内企業や大使館等と連携し、グローバルコミュニケーションを育む
- トップアスリートを講師として招き、生き方や価値観などを学ぶ
- プログラミング講師を招き、先進的な学習に取り組み、進路に役立てる

「みなと科学館」と 連携した授業

- 科学館の実験室で観察や実験など体験型の授業を実施
- 科学館の展示物やプラネタリウムなどを活用することで、理科や科学への興味・関心を引き出す



「個別学習」の時間設定

- 個別学習の時間を設けて苦手教科の復習を行うとともに、自分の興味がある学習に取り組む
- 1日のスケジュールを確認しながら無理なく学習を進める

令和7年4月から
開始している

そのほかの教育関連の取組

スペシャルニーズアシスタントの配置

学校生活に支援を要する児童・生徒一人ひとりに応じた支援を行う
スペシャルニーズアシスタントを、全区立小・中学校に配置しています。



モーニングスクールの実施

児童の始業前の居場所確保のため、区立御田小学校と区立白金小学校の2校で、
小学校1年生を対象にモーニングスクール（午前7時45分～8時10分）を実施しています。

各校1年生の
約2割が利用中

区立小・中学校の学用品の無償化

児童・生徒が一律に使用する補助教材と学習材料を、所得制限なく無償化しています。

日本語を母語としない子どもたちへの支援
みなとにほんごふれあいスペース～ことばの宝箱～

令和7年4月24日 区長記者発表



- 区では、令和3年度から18歳以上を対象にした日本語教室を実施
- 外国人住民の増加に伴い、日本を母語としない子どもたちの日本語学習のサポートを求める声も増加

➡ 令和7年1月～2月に、子どもたちを対象にした日本語学習教室を試行的に実施し、参加者から好評を得たことから、本格的に実施します。

試行実施では
6か国14名が参加！
参加者の声 ▶

- ・グループでお話することが楽しかった
- ・日本語や日本の文化についてもっと学びたい



令和6年度の試行実施の様子

みなとにほんごふれあいスペース～ことばの宝箱～

対象・定員 港区在住・在学の日本語を母語としない子ども（小・中学生） 25名

講師 ・区の日本語交流講座を修了した「日本語学習支援ボランティア」の皆さん
・東海大学 国際学部の学生の皆さん

会場 港区役所 会議室 ほか **実施期間** 令和7年6月～10月（全10回・土曜開催）

人々に愛され、区民が誇りを持てる施設を目指して
みなと芸術センター愛称募集

令和7年4月24日 区長記者発表



2027年11月に開館予定の「みなと芸術センター」について、区民の皆さんから親しまれ、愛される施設となるよう、ふさわしい愛称を募集します。

みなと芸術センター 概要



住 所 港区浜松町二丁目3番5号

浜松町二丁目地区第一種市街地再開発事業の一環として、地下2階地上46階建の複合ビルの地上3階～9階に整備

シアター（約600席） 多機能・高機能で多様な公演に対応可
コモンスペース（約100人収容） 観覧席は可動式で平土間での利用も可
その他、練習やワークショップ等に利用できるスペースあり

建物全体の
外観イメージ ▶



施設の基本理念

- 文化芸術の中核拠点施設
- 専門性とホスピタリティを備え、育み自らも育つ施設
- 人々に愛され、区民が誇りを持てる施設

みなと芸術センター 愛称募集

愛称の基準

- 1 施設の設置目的や特徴がイメージでき、親しみやすく覚えやすいもの
- 2 漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字のいずれかで構成されるもの
- 3 他の名称や商標などに類似していないもの
- 4 ご自身のアイデアに基づく提案であること

採用者には賞状と副賞を
贈呈します！



募集期間 令和7年4月24日から5月30日(必着)まで

対象者 どなたでも (一人1点まで)

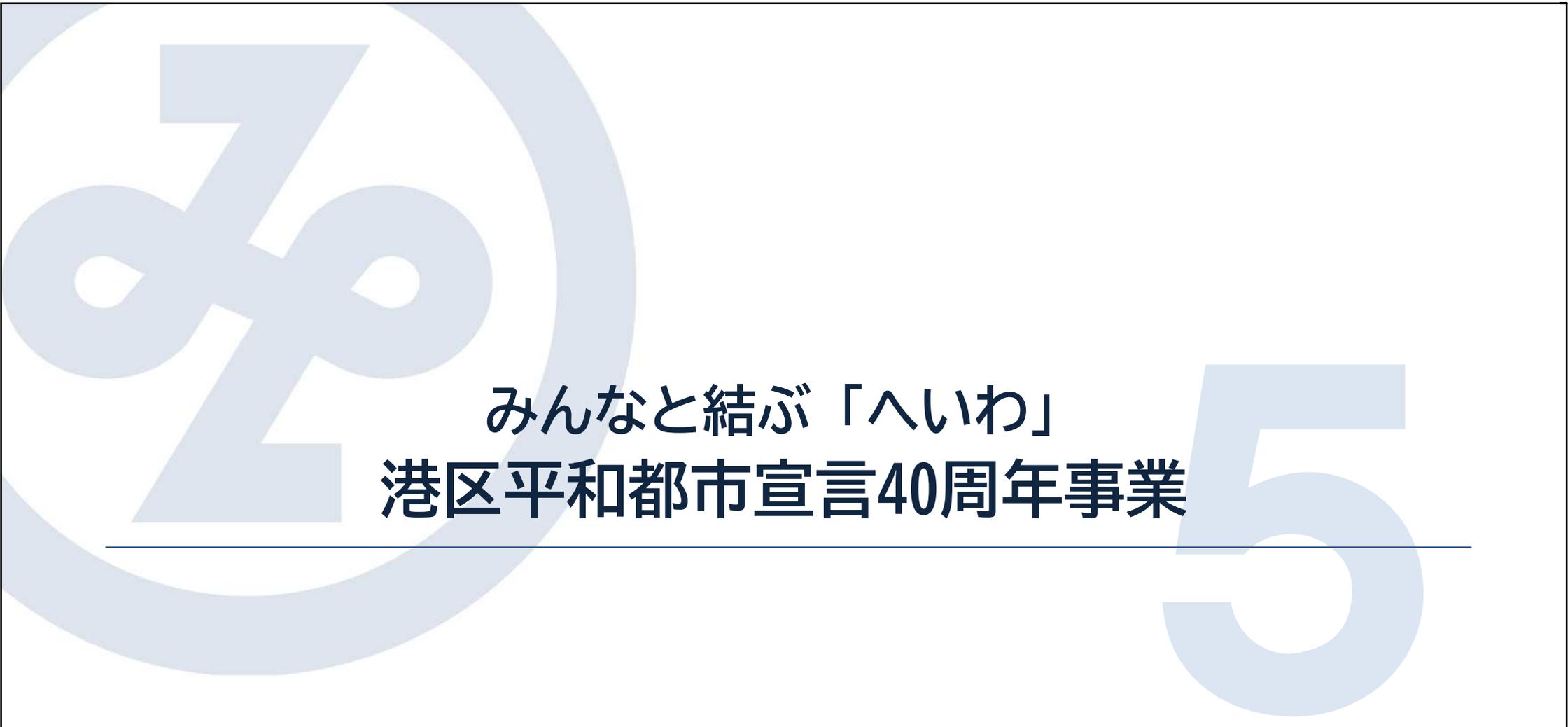
選考結果 選考委員による第一次選考・第二次選考を経て、令和7年9月上旬に決定(予定)

副賞 開館記念公演等へご招待



令和7年11月に開館2年前イベントを開催する予定です。
また、昨年度に引き続き、旧三田図書館を活用した「みなと commons」
を会場に、プレ事業としてワークショップも実施する予定です。

令和6年度に実施したプレ事業の様子 (アートユニット、キュンチョメによる作品の展示)



みんなと結ぶ「へいわ」
港区平和都市宣言40周年事業

令和7年4月24日 区長記者発表



- 令和7年度は、戦後80年にあたり、港区平和都市宣言40周年の年
- 区民の宣言認知度は、令和元年度は36.2%、令和5年度は28.7%と低下しており、戦争の記憶を風化させないためにも、積極的な周知が必要
- ウクライナやパレスチナ情勢をはじめ、国際平和を取り巻く社会情勢は緊迫化

港区平和都市宣言

世界の恒久平和と核兵器の廃絶を広く訴えるため、昭和60年8月15日に宣言しました。

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちが真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいにあふれたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和60年8月15日

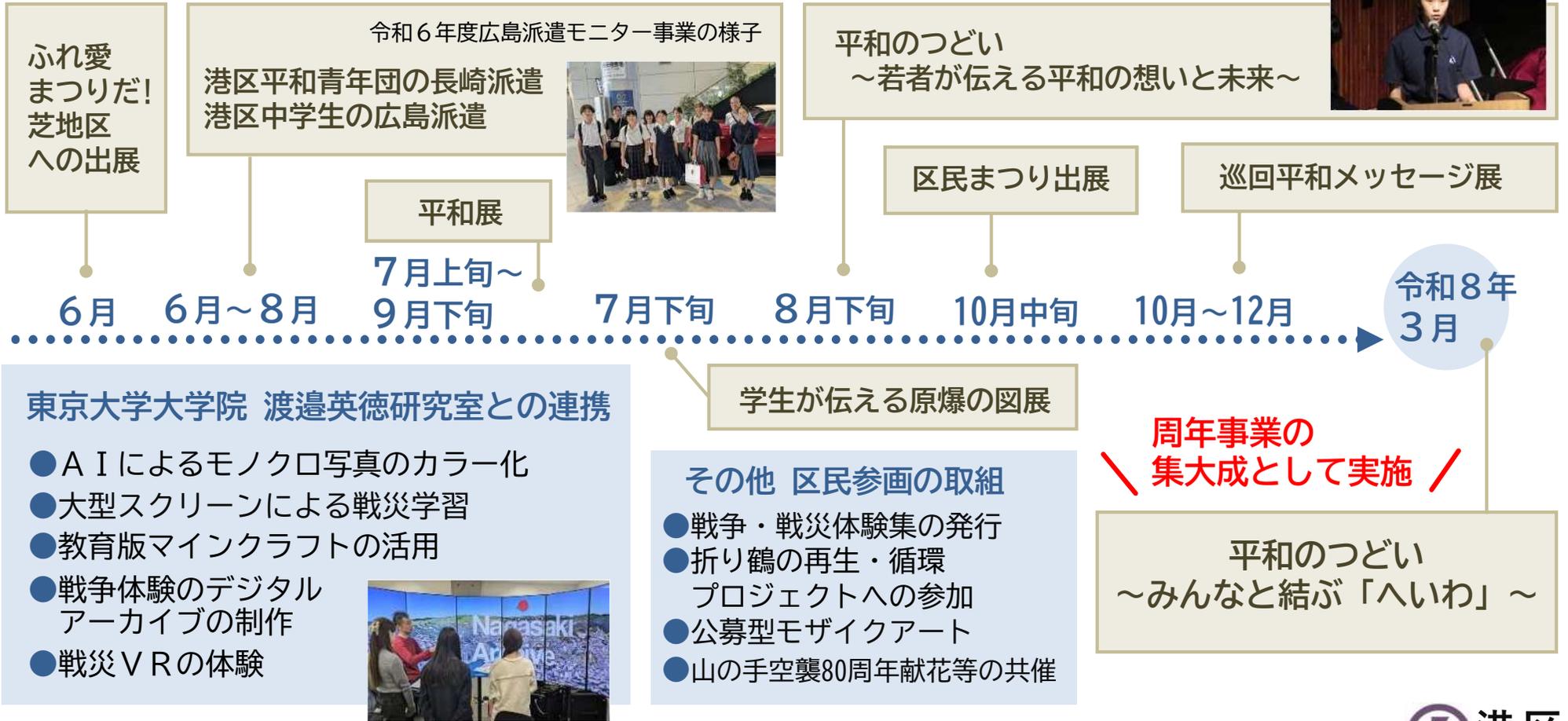
港 区



港区平和都市宣言

戦争の悲惨さや核兵器の脅威、平和を希求する思いを区民と共有し、未来に受け継いでいくため、学生世代からなる実行委員会が中心となり、『みんなと結ぶ「へいわ」～港区平和都市宣言40周年～』をテーマに掲げ、様々な事業を令和7年度を通じて実施します。

みんなと結ぶ「へいわ」～港区平和都市宣言40周年～ ロードマップ



区の特徴を踏まえたリアル防災 マンション等共同住宅の震災対策支援

令和7年4月24日 区長記者発表



- 港区の9割の世帯がマンション等の共同住宅に居住
 - 災害発生時、自宅に被害がない場合は在宅避難が原則
 - 区では現在、共同住宅の防災カルテの作成支援及び直接訪問によるアドバイス支援を実施
- ➡ 災害時に住民の自助、共助が機能するよう、新たに共同住宅ごとの防災マニュアルの作成と、それに基づく訓練の支援を行います。

マンション等共同住宅の 震災対策支援

- 共同住宅ごとの防災マニュアルの作成支援
共同住宅の住民によるワークショップを開催し、作成を支援
- 防災マニュアルに基づく防災訓練の支援
訓練の実施まで支援することで、防災マニュアルの実効性を確保

これまでの支援（継続）

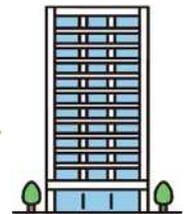
令和7年度からの新たな支援

防災カルテの
作成支援

直接訪問による
アドバイス支援

共同住宅ごとの
防災マニュアル作成支援 **NEW**

防災マニュアル
に基づく防災訓練の支援 **NEW**



区有施設やマンション等における災害に備えた取組

区有施設でのエレベーター閉じ込め対応訓練

エレベーター保守事業者の協力のもと、今年3月に港南子ども中高生プラザで施設職員を対象にした訓練を実施。東京消防庁高輪消防署港南出張所による訓練講評と助言・指導を受けました。



ドローンによる物資輸送の実証実験



垂直



水平

みなと新技術チャレンジ提案制度の実証実験として、今年2月と3月に、災害時を想定したドローンによる水平・垂直物資輸送を行いました。

水平物資輸送の様子を動画で公開中！



マンションの耐震化促進 **NEW!**

令和7年度から、新耐震基準で建てられた分譲マンションを対象とした耐震確認調査費用の助成を新たに開始しました。

米国関税対策にも対応 港区の中小企業支援

令和7年4月24日 区長記者発表





区では、区内中小企業の経営を支援する様々なメニューを整えています。米国の関税措置の影響が懸念される中、プッシュ型の巡回相談や米国関税政策に関するセミナーの開催、各補助金の活用の促進などにより、中小企業への支援を強化しています。

米国関税対策にも対応 港区の中小企業支援

- 出前経営相談

- 巡回相談

- 米国関税に関するセミナーの開催

- 区ホームページで関係機関の支援情報を発信

4月8日から、輸出関連事業者へのプッシュ型の聴き取りを開始！

- グローバルビジネスアドバイザー(海外販路拡大)の派遣

- 産業見本市出展や広告宣伝費などの補助金の活用促進

- 日本政策金融公庫セーフティネット貸付や日本貿易保険(NEXI)などの積極的な案内

- 産業振興センターコワーキングスペース会員向けの「メンタリングサポート」と「土業サポート制度」の活用

誰もが働きやすい職場環境の実現に向けて 港区職員におけるハラスメント防止宣言

令和7年4月24日 区長記者発表



港区ハラスメント防止宣言の下、区はハラスメント防止に対する職員の意識を高め、実効性のある取組を進めていきます。

港区職員におけるハラスメント防止宣言 概要

対象者 全職員（業務委託、人材派遣、指定管理者を含む）

宣言日 令和7年4月1日



区長による宣言の様子を動画で公開中！

1 あらゆるハラスメントの防止

人格又は尊厳を侵害する等の不適切な言動を断じて許さず、あらゆるハラスメントの防止に取り組む

2 良好な職場環境づくり

相互理解、信頼関係の構築によって、ハラスメントが生じない良好な職場環境をつくる

3 カスタマー・ハラスメントへの対応姿勢

カスタマー・ハラスメントには、厳正かつ公正な対応で、組織として職員一人一人を守る

ハラスメント防止に向けた取組例

ハラスメント全般の防止に向けて

- ハラスメント防止セルフチェックの実施（管理職）
- 全部門でハラスメント防止に関する組織目標を設定
- 安全衛生委員会での課題分析
- 円滑なコミュニケーション方法等に関する研修の実施

啓発ポスターを庁内の目につく場所に掲示



カスタマー・ハラスメントの防止に向けて

- カスハラ対応マニュアルの策定
- カスハラ防止啓発ポスターの庁内への掲示
- 専門家の活用(臨床心理士、弁護士)



令和7年4月に策定

**<4月1日開園> 区内初！おもてなし公衆トイレを整備
六本木三丁目児童遊園「ロクサンひろば」**

令和7年4月24日 区長記者発表



- 安心・安全と快適性の確保が課題となっていた六本木三丁目児童遊園と周辺道路一帯の再整備が完了し、「ロクサンひろば」として令和7年4月1日に開園しました。
- 「進めよう！おもてなし公衆トイレ整備方針」に沿った初のトイレを整備しました。

公衆トイレを誰もが安心して気持ちよく利用できる空間へと整備するため、令和5年度に制定

4月6日（日曜）に、地域の皆さんとオープニングセレモニーを開催しました



暗いイメージが払拭され、明るい憩いの場に生まれ変わりました！



最新技術を取り入れた「ロクサンひろば」

- 区で初のおもてなし公衆トイレ
- IoT技術を活用することで、トイレの不具合にいち早く対応が可能
- 環境に配慮した清掃方法やアロマも導入

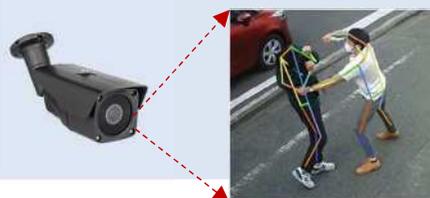
▼ おもてなし公衆トイレ「OTECO」ロゴマーク



- 子どもたちが描いた絵をARで展示するなど、専用アプリを利用して楽しく遊べる「XRコンテンツ」を導入



- AI機能を搭載した防犯カメラを設置
- 迷惑行為を検知すると即時に警備員へ通知



- 区で初の屋外型の情報発信デジタルサイネージを導入
- 地域情報を随時提供
- 災害時には「港区防災ポータル」の防災情報を表示

麻布の坂道から始まる“味と物語”の旅
麻布坂カレー 第3弾

令和7年4月24日 区長記者発表



港区は坂が多く、麻布地区には個性豊かなエピソードをもった約60の坂があります。麻布地区の地域事業活性化プロジェクトの取組のひとつとして、麻布の坂をテーマにしたご当地グルメ、「麻布坂カレー」を立ち上げ、地域みなさんと一緒に広く発信しています。



麻布坂カレー 概要

店舗の参加条件 麻布区内もしくは隣接する地域に所在する店舗

麻布坂カレー レギュレーション

- お米を三角やスロープ状に盛り付けて坂を表現すること
- 提供するカレーに標柱を添えること
- 坂にまつわる食材を使用したり、歴史やエピソードを添えること

参加店舗への特典

- 標柱及び港区シンボルマーク入りミニのぼりやステッカーの無償提供
- 麻布地区地域事業活性化プロジェクト公式ウェブサイトでの店舗紹介
- AZABUアンバサダーによるイベントやSNS等での紹介 ほか

麻布坂カレー標柱

高さ8cm × 幅2cm
アクリル板使用



AZABUアンバサダー

麻布エリアの魅力を発信する
インフルエンサーの皆さん



8店舗9種類！個性豊かな麻布坂カレー

NEW!

第3弾

令和7年4月24日
提供開始



芋洗坂カレー
shojin 宗胡

於多福坂カレー
HINARI CAFE 麻布



引き続き
参加店舗
募集中!



第2弾

令和7年3月1日
提供開始



南部坂カレー
有栖川食堂



永坂カレー
洋食屋 大越



鉄砲坂カレー
麻布筭軒 広尾本店



大黒坂カレー(上) 仙台坂カレー(下)
欧風カレーガヴィアル・プラス
麻布十番店

第1弾

令和7年1月10日
提供開始



なだれ坂カレー
キーマカレー専門店
「飛飛飛」



サクラ咲くさくら坂カレー
元祖麻布ヨーロピアンカレー
専門店「ピリピリ(PILIPILI)」

